

第51期第2四半期連結累計期間 決算説明資料

(2016年4月1日 ~ 2016年9月30日)

株式会社 **工ノモト**



【会社名】 株式会社 **エノモト**

【英訳名】 ENOMOTO Co.,Ltd.

【証券コード】 6928 **JASDAQ**

【URL】 <http://www.enomoto.co.jp/>

【代表者】 代表取締役社長 武内 延公

【問合せ先】 経営企画部 久嶋光博

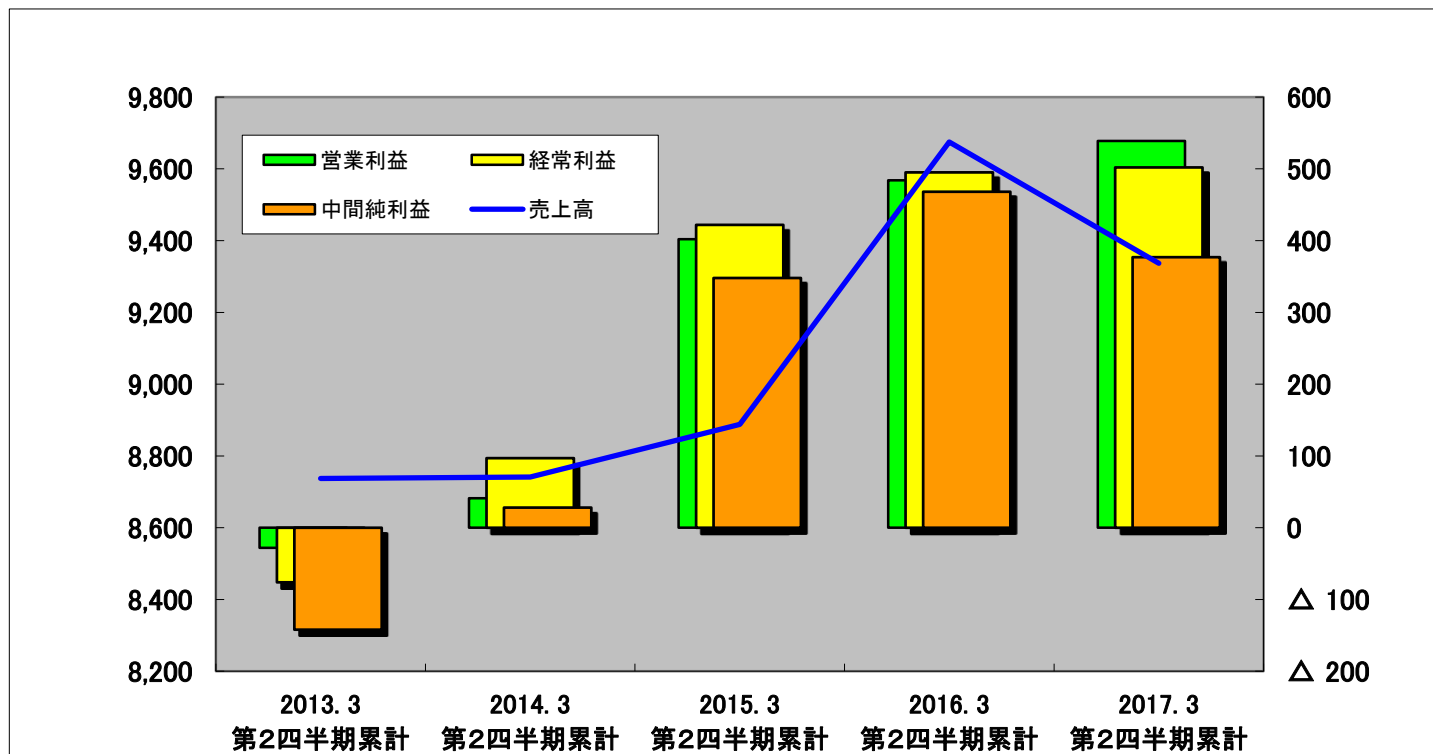
【E-Mail】 ir@enomoto.co.jp

【本社所在地】 山梨県上野原市上野原8154-19

【電話番号】 0554(62)5111(代表)

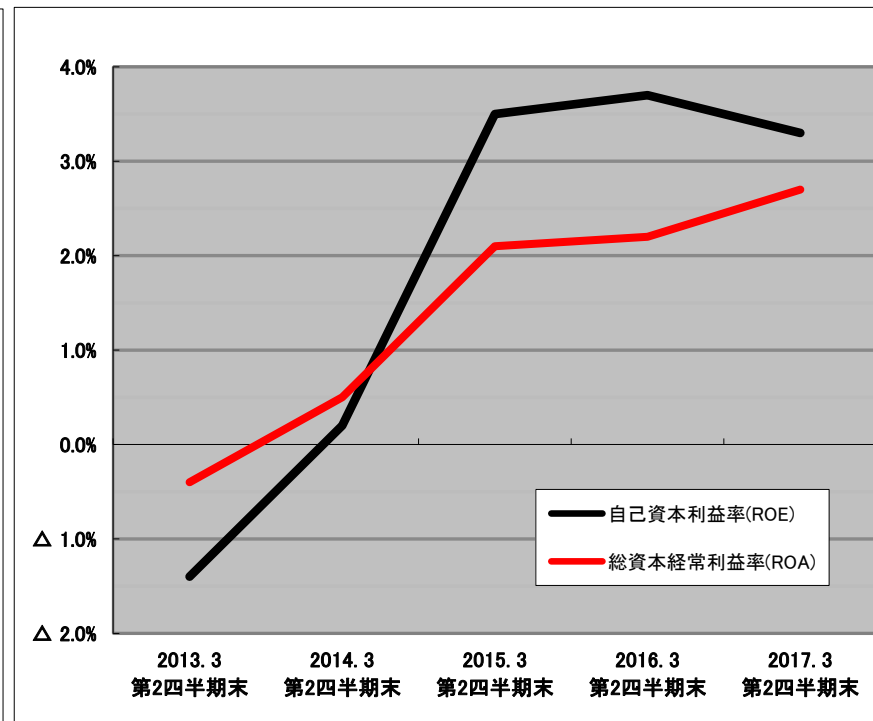
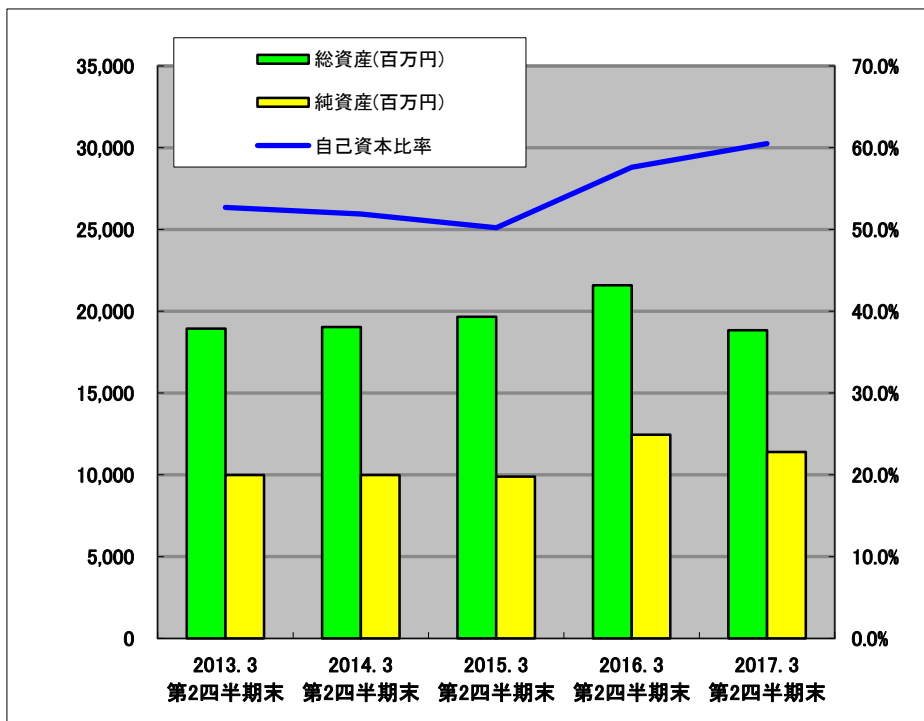
第2四半期連結累計
期間のご報告

百万円



	2013.3 第2四半期累計	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	2017.3 第2四半期累計	前期比
売上高	8,737	8,741	8,888	9,675	9,337	3.4%減
営業利益	△ 28	41	402	484	539	11.3%増
営業利益率	-	0.5%	4.5%	5.0%	5.7%	8P増
経常利益	△ 76	97	422	495	502	1.5%増
経常利益率	-	1.1%	4.7%	5.1%	5.3%	3P増
中間純利益	△ 142	28	348	468	377	19.4%減
中間純利益率	-	0.3%	3.9%	4.8%	4.0%	-

百万円



	2013.3 第2四半期末	2014.3 第2四半期末	2015.3 第2四半期末	2016.3 第2四半期末	2017.3 第2四半期末
総資産(百万円)	18,939	19,037	19,660	21,587	18,839
総資産回転率	46.1%	46.0%	45.2%	44.8%	49.4%
純資産(百万円)	9,986	9,986	9,884	12,449	11,398
自己資本比率	52.7%	51.9%	50.2%	57.6%	60.5%
自己資本利益率(ROE)	△ 1.4%	0.2%	3.5%	3.7%	3.3%
総資本経常利益率(ROA)	△ 0.4%	0.5%	2.1%	2.2%	2.7%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府主導の経済対策などの影響によって非製造業を中心に底堅さを維持しており、雇用環境の改善傾向や、既存資産の更新需要による設備投資の持ち直しなど、光明が差す一方で若年層を中心とした将来への不安感は根強く、個人消費の伸び悩みが足かせとなり力強さを欠いております。

海外におきましては、アメリカ経済の雇用環境は引き続き改善傾向を維持し、個人消費の推移も堅調なものとなっており、FRBにより9月の利上げは見送りが発表されたものの、年内には実行されるという観測も出るなど、当面は好調に推移すると予測されます。ヨーロッパ経済においては、ドイツの製造業に減速傾向が見られるほか、イギリスもEU離脱に伴う先行き不安感が強く、当面は大きな減速の危険性をはらんでいます。中国経済においては、民間投資の減速傾向、雇用環境を要因とする個人消費の悪化も変わりがなく、輸出入も低調であることから、未だ回復の兆しは見られません。

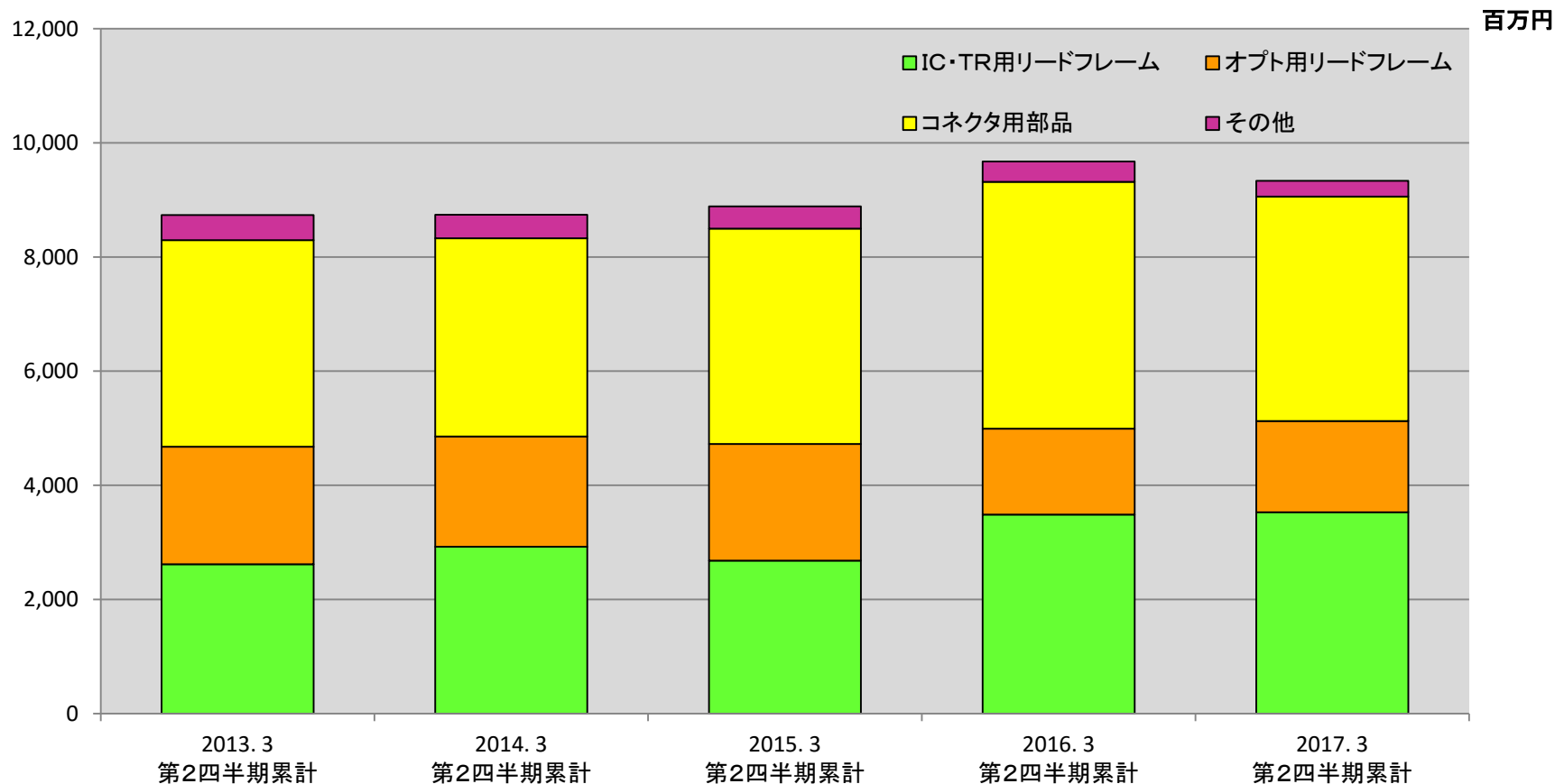
当社グループの属する電子部品業界におきましては、以前のようなハイエンドスマートフォン市場の急激な需要増加は無いものの、今秋発売の機種は現在のところ堅調な出荷量が予測されております。また、自動車市場においても、需要は横ばい基調であります。電装化の進行により電子部品に対する需要は増加傾向を維持しております。

このような状況下、当社グループは業務の見直しによる効率化と更なる技術の研鑽により、収益力の向上に努めて参りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は93億3千7百万円(前年同四半期比3.4%減)となりました。

また、営業利益は5億3千9百万円(同11.3%増)、経常利益は5億2百万円(同1.5%増)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、法人税等合計額の増加等により3億7千7百万円(同19.4%減)となりました。

■製品群別業績(売上高)



	2013.3 第2四半期累計	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	2017.3 第2四半期累計
IC・TR用リードフレーム	2,617	2,923	2,679	3,487	3,528
オプト用リードフレーム	2,058	1,932	2,045	1,505	1,598
コネクタ用部品	3,621	3,472	3,773	4,326	3,932
その他	439	413	390	355	277
	8,735	8,740	8,887	9,673	9,337

① IC・トランジスタ用リードフレーム

当製品群は、自動車向け、民生用機器向けが主なものであります。自動車の電装化率の上昇により、引き続き堅調な推移を見せております。その結果、当製品群の売上高は35億2千8百万円(前年同四半期比1.1%増)となりました。

② オプト用リードフレーム

当製品群は、LED用リードフレームが主なものであります。自動車向け、照明向けの需要が向上した影響で回復基調にあります。その結果、当製品群の売上高は15億9千8百万円(同6.1%増)となりました。

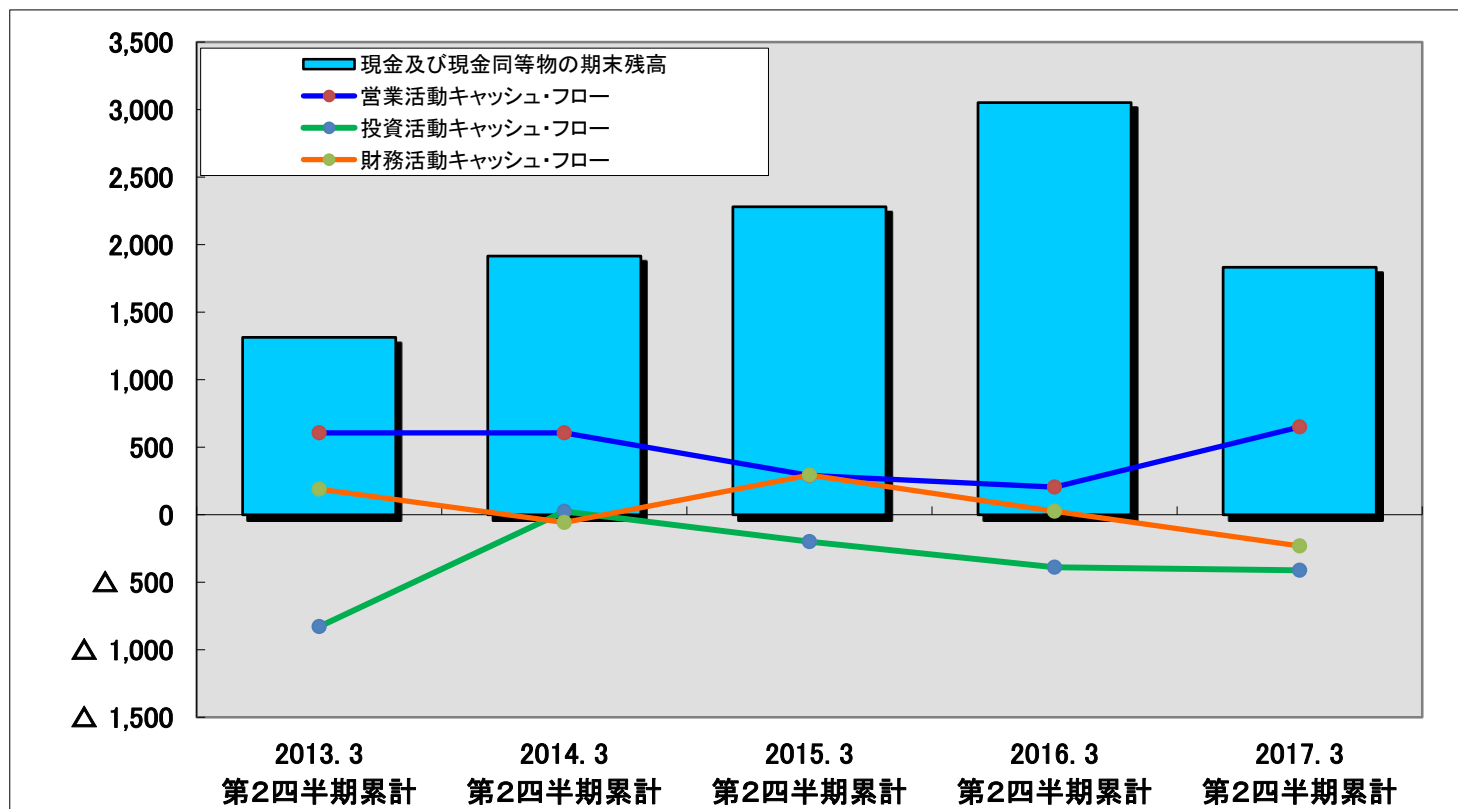
③ コネクタ用部品

当製品群は、スマートフォン向け、デジタル家電向けが主なものであります。特に、ハイエンドスマートフォン向け部品が中心であり、第1四半期には昨年秋発売機種の影響を受けましたが、今秋発売機種の出荷は堅調であり、回復基調にあります。その結果、当製品群の売上高は39億3千2百万円(同9.1%減)となりました。

④ その他

その他の製品群としては、リレー用部品が主なものであります。当製品群の売上高は2億7千7百万円(同21.9%減)となりました。

百万円



	2013.3 第2四半期累計	2014.3 第2四半期累計	2015.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	2016.3 第2四半期累計	前期比
営業活動キャッシュ・フロー	606	606	291	205	650	216.9%増
投資活動キャッシュ・フロー	△ 829	24	△ 200	△ 389	△ 412	5.9%減
財務活動キャッシュ・フロー	189	△ 57	293	26	△ 232	-
現金及び現金同等物の期末残高	1,314	1,916	2,280	3,052	1,833	39.9%減

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前第2四半期連結累計期間末に比べ12億1千8百万円減少し、当第2四半期連結累計期間末には18億3千3百万円となりました。

▶営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は6億5千万円(前年同四半期比216.9%増)となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益4億9千4百万円及び減価償却費4億4千万円による資金の増加、売上債権の増加4億2千3百万円及び法人税等の支払1億3千2百万円による資金の減少によるものであります。

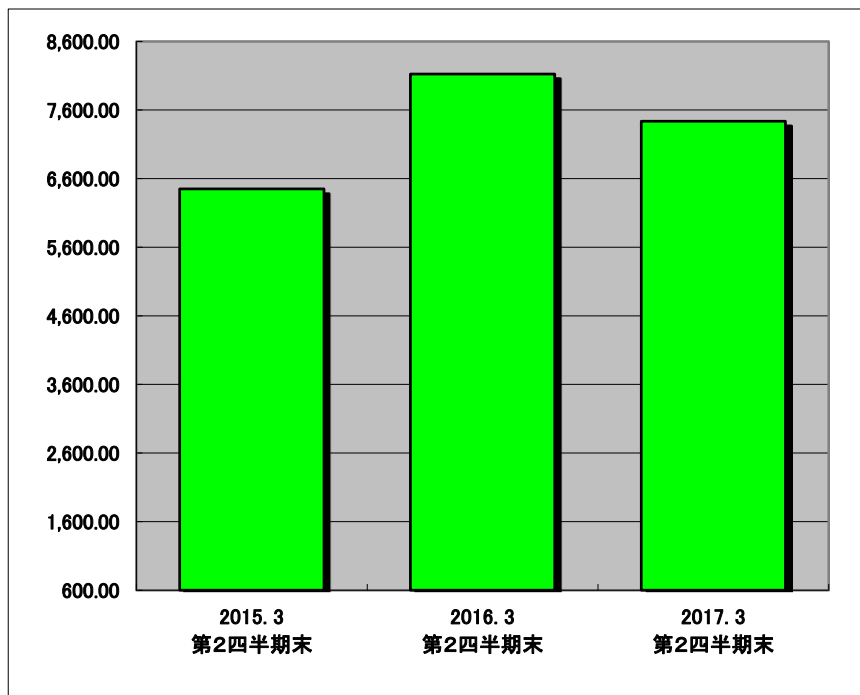
▶投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は4億1千2百万円(同5.9%減)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出4億5百万円によるものであります。

▶財務活動によるキャッシュ・フロー

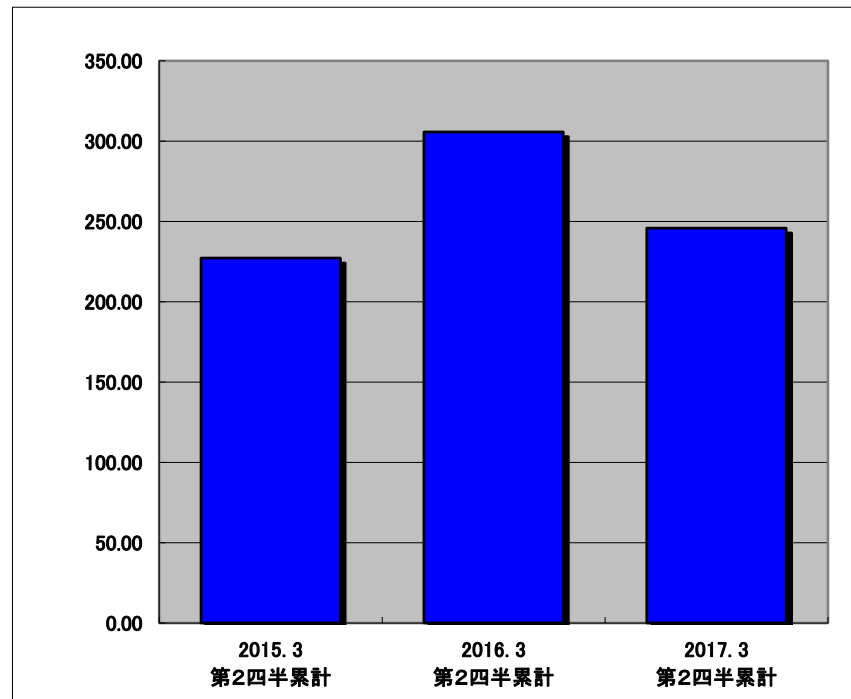
財務活動の結果使用した資金は2億3千2百万円となりました。これは主に短期借入金5千4百万円の純増額、長期借入金1億8千万円の返済及び配当金9千1百万円の支払によるものであります。

1株当り純資産(連結)



1株当り当期純利益(連結)

円



	2015.3 第2四半期末	2016.3 第2四半期末	2017.3 第2四半期末
1株当り純資産(連結)	6,450.40	8,125.10	7,437.45
1株当り中間純利益(連結)	227.20	305.70	245.81

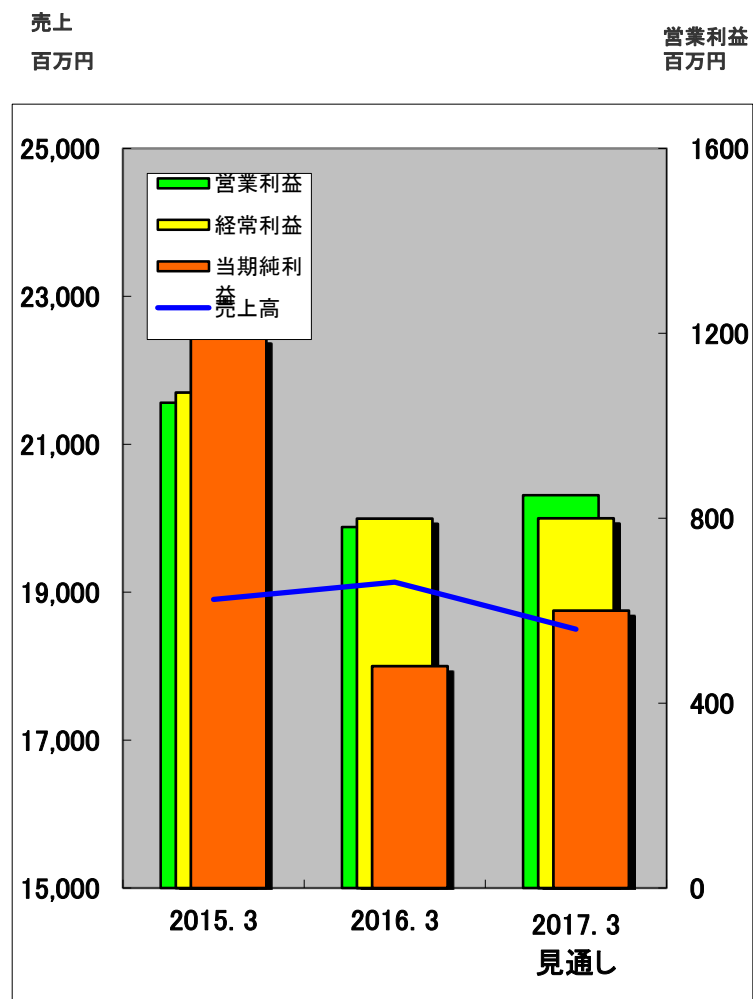
○株式等の状況

平成28年6月29日開催の第50回定時株主総会決議により、平成28年10月1日付で 10株を1株とする株式併合及び1,000株を100株とする、単元株式数の変更を行っております。従いまして、平成28年10月1日における発行可能株式総数は376万株、発行株式総数は、153万4,840株 となっております。

2016年3月期
の見通し

■通期業績予想(連結)

	2015. 3	2016. 3	2017. 3 見通し	百万円 前期比
売上高	18,903	19,135	18,500	3.3%減
営業利益	1050	781	850	8.8%増
営業利益率	5.6%	4.0%	4.5%	0.5P増
経常利益	1072	799	800	0.0%増
経常利益率	5.7%	4.1%	4.3%	0.2P増
当期純利益	1189	480	600	24.8%増
当期純利益率	6.3%	2.5%	3.2%	0.7P増



今後の見通しにつきましては、原材料価格や為替の変動、最終製品の販売状況による受注の急激な増減、中国経済の減速による需要の低下、自動車需要の低調といった懸念材料が存在しているものの、当第2四半期連結累計期間の業績は概ね予定どおりに推移しており、通期の業績につきましては、平成28年5月10日に発表いたしました業績予想に変更はございません。

1. 配当予想修正の理由

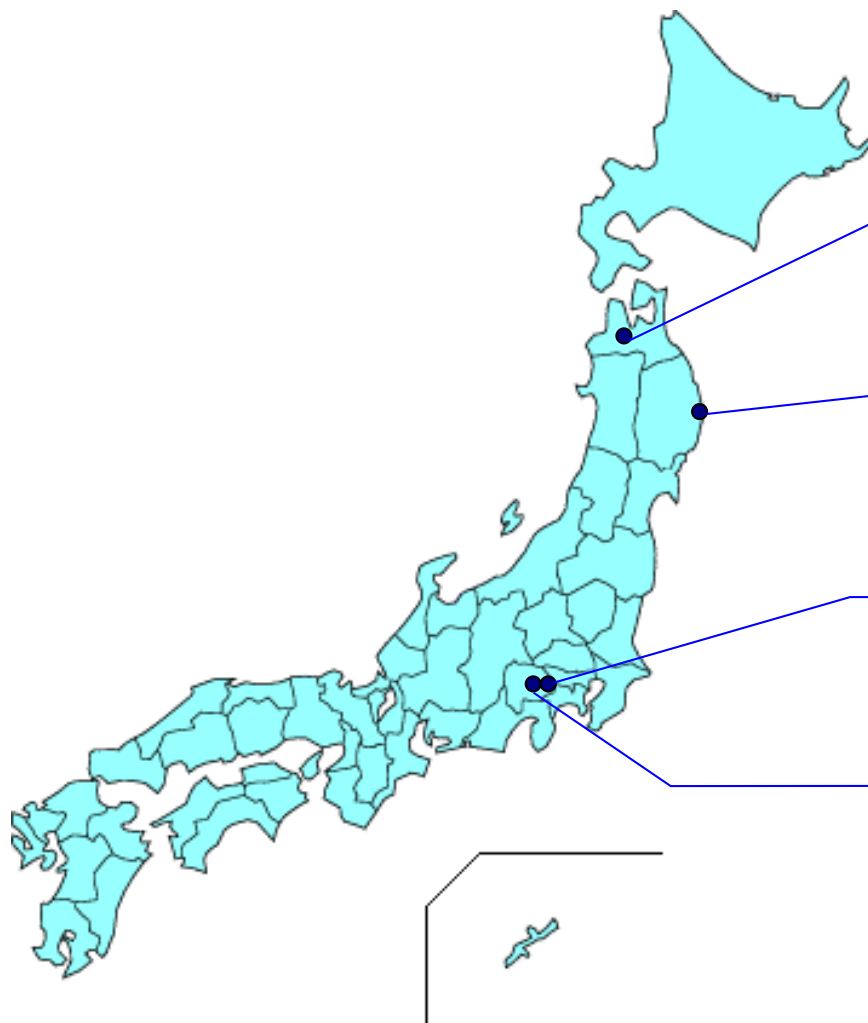
当社は、平成28年6月29日開催の第50回定時株主総会において、平成28年10月1日を効力発生日として普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施する議案が承認可決されました。これに伴い平成29年3月期の期末1株当たり配当予想につきまして、当該株式併合の影響を考慮した金額に修正を行うものであります。

なお、下記配当の修正は、株式併合に伴い1株当たりの配当金額を修正するものであり、配当予想に実質的な変更はありません。

2. 修正の内容

	年 間 配 当 金				
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成28年5月10日)	—	0.00	—	6.00	6.00
今 回 修 正 予 想	—	—	—	60.00	60.00
当 期 実 績	—	0.00			
前 期 実 績 (平成28年3月期)	—	0.00	—	6.00	6.00

補足資料



・津軽工場

青森県五所川原市大字漆川字玉椿191-1
TEL.0173-33-0570 FAX.0173-34-5206

・岩手工場

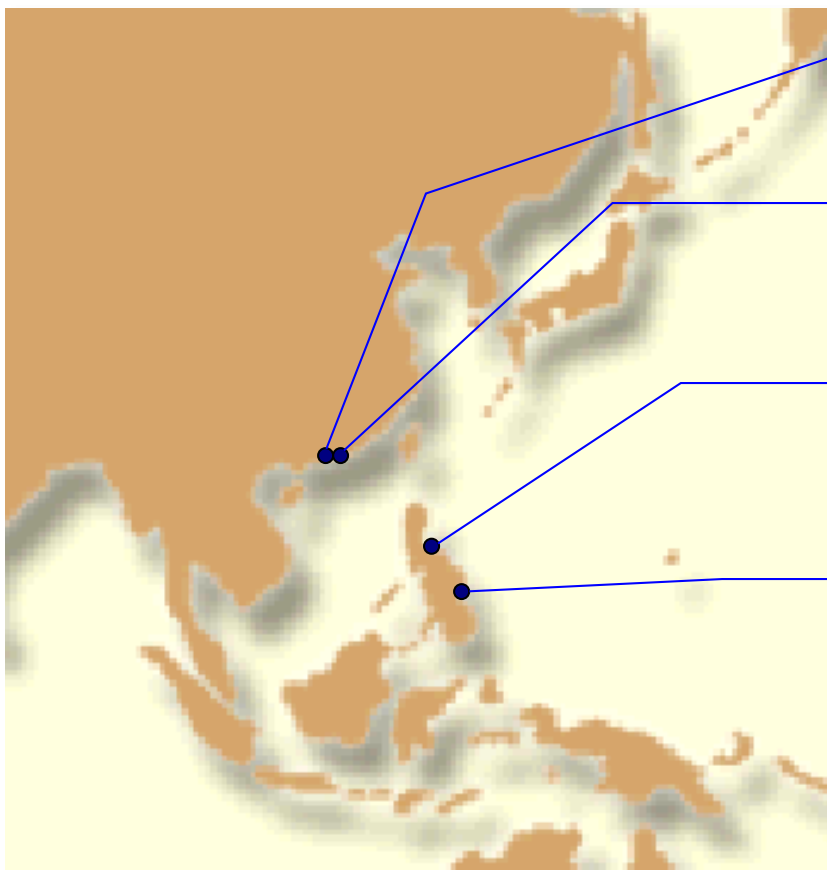
岩手県上閉伊郡大槌町大槌第10地割39
TEL.0193-42-8511 FAX.0193-42-8513

・本社

山梨県上野原市上野原8154-19
TEL.0554-62-5111 FAX.0554-63-4193

・本社工場

山梨県甲州市塩山熊野666
TEL.0553-32-1111 FAX.0553-32-1159



▪ **ZHONGSHAN ENOMOTO Co.,Ltd.**
広東省中山市火炬開発区逸仙工業区
TEL.+86-760-8533-5111 FAX.+86-760-8533-5113

▪ **ENOMOTO HONG KONG Co.,Ltd**
香港九龍梳士巴利道3号星光行1805室
TEL.+852-2199-7848 FAX.+852-2199-7918

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
PEZA-Gateway Business Park, Javalera, General Trias, Cavite, Philippine
TEL.+63-46-433-0263 FAX.+63-46-433-0264

▪ **ENOMOTO PHILIPPINE MANUFACTURING Inc.**
CEBU OPERATIONS
Cebu Light Industrial Park, Special Economic Zone, Washington Road,
Basak, Lapu-Lapu City, Cebu, Philippines
TEL.+63-32-341-2223 FAX.+63-32-341-2228

注意事項

事業の展望、業績予想等の将来の動向にかかる記載につきましては、歴史的事実ではないため、不確定な要素を含んでおります。

現在入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により予想と異なる結果となる可能性があることをご了承願います。

ENOMOTO Co.,Ltd.